

1. 生涯学習関連施設一覧・指定文化財一覧

① 社会教育施設一覧

施設名	建設年月
西枇杷島会館	1971（昭和46）年3月
清洲市民センター（中央公民館）	1979（昭和54）年12月
朝日公民館	1980（昭和55）年12月
西枇杷島小田井公民館（にしび創造センター）	1990（平成2）年5月
春日公民館	1991（平成3）年3月
西枇杷島問屋記念館	1992（平成4）年3月
清須市立図書館	1998（平成10）年2月※ ¹
はるひ美術館	1999（平成11）年3月
西枇杷島勤労福祉会館（にしびさわやかプラザ）	2004（平成16）年10月
一場公民館	2021（令和3）年3月
あいち朝日遺跡ミュージアム※ ²	2020（令和2）年11月

※¹ 2012（平成24）年7月にはるひ保健福祉センターを図書館として整備

※² あいち朝日遺跡ミュージアムは愛知県の施設



市立図書館



あいち朝日遺跡ミュージアム



西枇杷島勤労福祉会館（にしびさわやかプラザ）

② 社会体育施設一覧

施設名	建設年月
春日B & G体育館	1983（昭和58）年3月
清洲勤労福祉会館（アルコ清洲）	1995（平成7）年4月
新川地域文化広場（カルチバ新川）	1996（平成8）年2月
西枇杷島野球場	1971（昭和46）年7月
西枇杷島子ども野球場	1977（昭和52）年7月
新川軟式野球場	—
西枇杷島ソフトボール場	1988（昭和63）年6月
新川ソフトボール場	—
西枇杷島テニスコート	1974（昭和49）年4月
浄化センターコート	2013（平成25）年3月
新川テニスコート	—
春日テニスコート	1978（昭和53）年3月
春日B & Gテニスコート	—
新清洲多目的広場	—
新川多目的広場	—
春日B & G多目的運動場	2011（平成23）年12月
西田中グラウンド	—
新川グラウンド	—
春日グラウンド	1978（昭和53）年3月



春日グラウンド



浄化センターコート

③ 清須市内の指定文化財

種別	指定	文化財名	所在地等
史跡	国指定	貝殻山貝塚	朝日地内
考古資料	国指定	愛知県朝日遺跡出土品	朝日貝塚（あいち朝日遺跡ミュージアム）
史跡	県指定	検見塚	朝日地内
彫刻	県指定	木造観音菩薩立像	大嶋一丁目（総見院）
工芸	県指定	唐絹織紫衣	大嶋一丁目（総見院）
有形民俗文化財	市指定	橋詰町 王義之車	西枇杷島町橋詰堤外（橋詰町集会所）
有形民俗文化財	市指定	問屋町 頼朝車	西枇杷島町問屋（問屋町集会所）
有形民俗文化財	市指定	東六軒町 泰亨車	西枇杷島町南六軒（東六軒町公民館）
有形民俗文化財	市指定	西六軒町 紅塵車	西枇杷島町西六軒（西六軒町公民館）
有形民俗文化財	市指定	杵西町 頼光車	西枇杷島町北二ツ杵
有形民俗文化財	市指定	試楽車（山車）	朝日天王（朝日天王社）
有形文化財	市指定	宝暦六年 問屋制札	西枇杷島町西六軒（問屋記念館内展示）
有形文化財	市指定	文政十年 美濃路道標	西枇杷島町橋詰
有形文化財	市指定	二松学校校名額	清須市教育委員会
有形文化財	市指定	水野千右衛門の陳情書	寺野元町
天然記念物	市指定	西枇杷島小学校校庭の クログネモチ	西枇杷島町住吉（西枇杷島小学校校庭）
有形文化財	市指定	小場塚弁財天縁起版木	西枇杷島町宮前町（小場塚公民館）
有形文化財	市指定	三尊釈迦如来像	西枇杷島町小田井三丁目（西方寺）
有形文化財	市指定	光明本尊像	西枇杷島町小田井三丁目（西方寺）
有形文化財	市指定	髪繡阿弥陀如来像	西枇杷島町小田井一丁目（宝國寺）
有形文化財	市指定	枇杷島小橋橋柱	西枇杷島町住吉（西枇杷島小学校）
有形文化財	市指定	問屋記念館 （旧山田九左衛門家住宅）	西枇杷島町西六軒（問屋記念館）
有形文化財	市指定	問屋町 年中行事式冊目	西枇杷島町問屋
有形文化財	市指定	尾張藩 拝領太鼓	西枇杷島町問屋
有形文化財	市指定	小川伝七家文書	清須市教育委員会
有形文化財	市指定	枇杷島市場開設命令書	清須市教育委員会（教育委員会寄託）
有形文化財	市指定	枇杷島市場規定	西枇杷島町西六軒（問屋記念館内展示）
有形文化財	市指定	渡辺家文書	清須市教育委員会
有形文化財	市指定	近藤家文書	清須市教育委員会
有形文化財	市指定	五条川右岸収穫図	春日夢の森（はるひ美術館寄託）
有形文化財	市指定	夏溪水禽図	春日夢の森（はるひ美術館寄託）
有形文化財	市指定	朴樹小禽図	春日夢の森（はるひ美術館寄託）

種別	指定	文化財名	所在地等
有形文化財	市指定	僧形合掌像（円空仏）	春日天神
有形文化財	市指定	清洲城下町遺跡出土 籬締めこけら経	清須市教育委員会
有形文化財	国登録	柴田家住宅主屋	西枇杷島町辰新田
合計		文化財件数：35件	

④ 清須市内の埋蔵文化財

文化財名	所在地等	出土遺物
朝日遺跡	朝日地内他	弥生土器、石器、木製品、銅鐸他
清洲城下町遺跡	清洲、朝日地内他	山茶碗、中世陶磁器、瓦他
廻間遺跡	廻間地内他	土師器他
松ノ木遺跡	西市場地内	弥生土器
土田遺跡	廻間、土田地内他	弥生土器、山茶碗他
西田中遺跡	西田中地内	弥生土器
小田井城跡	西枇杷島町古城地内他	-
外町遺跡	須ヶ口地内他	山茶碗、瓦、近世陶磁器
白弓遺跡	春日白弓	弥生土器他
下之郷貝塚	春日白弓	弥生土器
清洲代官所跡	春日四番割	近世陶磁器
地藏越遺跡	大嶋一丁目	土師器、須恵器、灰釉陶器他
中之郷北遺跡	春日宮重	土師器、須恵器、鉄製品、山茶碗他
合計	埋蔵文化財包蔵地：13か所	



愛知県朝日遺跡出土品（国重要文化財）



木造観音菩薩立像（県指定文化財）



問屋記念館（市指定文化財）

2. 清須市生涯学習推進計画策定経過

開催年月日	会議名・内容
令和6年7月8日	第1回 清須市生涯学習推進計画策定検討会 (1) 清須市生涯学習推進計画(第2期)の方向性について (2) 清須市生涯学習推進計画(第2期)策定スケジュールの確認について (3) 清須市生涯学習推進計画(第2期)市民アンケート等の確認について (4) その他
令和6年8月1日 ～8月16日	清須市の生涯学習に関するアンケート調査(16歳以上の市民対象)
令和6年9月	清須市の生涯学習関連団体へのヒアリング調査
	職員意識調査・庁内ヒアリング調査
	清須市の生涯学習に関するアンケート調査(小中学生対象)
令和6年10月4日	第2回 清須市生涯学習推進計画策定検討会 (1) 清須市生涯学習推進計画(第2期)市民アンケート等の結果について (2) 清須市生涯学習推進計画(案)の骨子について (3) その他
令和6年11月12日	第3回 清須市生涯学習推進計画策定検討会 (1) 清須市生涯学習推進計画(第2期)案について (2) 清須市生涯学習推進計画(第2期)(案)に係るパブリック・コメントの実施について (3) その他
令和6年12月6日 ～令和7年1月7日	パブリック・コメント実施
令和7年1月29日	第4回 清須市生涯学習推進計画策定検討会 (1) 清須市生涯学習推進計画(第2期)について (2) その他

3. 清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱

清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱

(設置)

第1条 清須市における生涯学習の推進のための基本方針及び推進計画を策定し、並びに生涯学習に係る施策を総合的に推進するため、清須市生涯学習推進計画策定検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会は、次に掲げる事項について検討するものとする。

- (1) 生涯学習推進のための基本方針及び推進計画の策定に関すること。
- (2) 生涯学習に係る施策の総合調整に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、生涯学習の推進に関すること。

(組織)

第3条 検討会は、委員10人以内とし、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 前2号に掲げる者のほか教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する生涯学習推進計画の策定を終了したときまでとする。

(会長及び副会長)

第5条 検討会に会長及び副会長を1人置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 検討会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 会長は、会議の議長となる。
- 4 検討会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(専門部会)

第7条 検討会は、必要があると認めるときは、専門部会を置くことができる。

- 2 専門部会は、会長の指名する委員をもって構成する。

(意見の聴取)

第8条 会長は、審議のため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 検討会の庶務は、生涯学習担当課において処理する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、検討会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

(会議の招集の特例)

第11条 委員が選任された日以後最初に開かれる会議については、第6条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が招集する。

附 則

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月12日教育委員会告示第6号)

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

4. 清須市生涯学習推進計画策定検討会委員名簿

	氏名	所属団体等
会長	大村 恵	愛知教育大学特別教授
副会長	丹羽 裕子	社会教育委員会委員長
委員	和田 典之	社会教育委員
委員	富田 友一	文化協会会長
委員	佐藤 あつ子	女性の会会長
委員	梶浦 重幸	体育協会会長
委員	河合 幹雄	国際交流協会会長
委員	吉田 春美	家庭教育支援チーム 「チームMOMO」代表
委員	野呂 千賀子	子育てネットワーカー 「ふわふわ」代表
委員	小出 明	文化財保護審議会委員長

5. 清須市の生涯学習に関するアンケート調査(16歳以上の市民対象)

(1)調査の実施概要

① 調査の目的

本計画策定にあたる基礎資料として、また、今後の市の生涯学習に関する施策や取組を推進する際の基礎資料として活用するためにアンケートを実施しました。

② 調査対象

市内在住の16歳以上の方2,000名を対象(無作為抽出)

③ 調査方法

郵送配布、郵送回収及びインターネット回答によるアンケート調査

④ 調査時期

2024(令和6)年8月

⑤ 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000	706	35.3%

(2)調査結果の概要

① 生涯学習の現状について

■ 生涯学習の実施状況

- ・ 全体の68.9%が過去一年間において何らかの学習を実施している。(問10)
- ・ 前回調査(平成25年)と比較すると、「(この1年くらい)していない」が減少していることから、学習に取り組む人が増えていることがうかがえる。(問10)

■ 学習をしている人の状況

- ・ 前回調査(平成25年)と比較すると「パソコンやインターネットなど(情報端末、ゲーム機器などの活用を含む)」、「自宅での学習活動(書籍など)」は増加し、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育」、「公民館などが主催する講座や教室」が減少していることから、デジタルを活用した学習や自宅での学習活動が増加している一方で従来の対面式の講座や教室への参加は減少していることがうかがえる。(問10-1)

- ・ 7割以上が、過去1年間に行った学習に満足している。(問10-2)
- ・ 学習を行う主な目的としては、10代から60代では「知識・教養・技術を高めるため」と「仕事に必要な知識・技能を得るため」の割合が多い傾向がみられた。一方、60代以上のグループでは、「健康・体力増進のため」の目的が最も多くなっており、年齢とともに学びの目的が変化することがうかがえる。(問10-3)
- ・ 学習を行う頻度では、6割以上の人が週に1日以上、8割以上の人が月に1日以上学習している。(問10-4)
- ・ 学習を行う時間帯は、平日の午前、午後、夜間が多い。(問10-5)
- ・ 学習を行う上での困りごととしては、「費用がかかる」が多い。年齢別では20代から50代では「仕事が忙しくて時間がない」、30代から40代では「家事・育児などが忙しくて時間がない」という理由が多いことから、仕事・家事・育児と学びの両立が難しい状況がうかがえる。(問10-6)
- ・ 学習成果の活用では、4割以上が「自分の人生がより豊かになっている」と回答しており、学びが個人の豊かさや生活の質を向上させる重要な要素であることがうかがえる。(問10-7)

■ 学習をしていない人の状況

- ・ 学習をしていない理由について、「仕事が忙しくて時間がない」が最も多く、特に男性が多い。また、女性は家事や育児による時間の制約を強く感じていることがうかがえる。また、前回調査(平成25年)と比較すると、「費用がかかる」が増加しており、学習に対する経済的負担感が増大していることがうかがえる。(問10-8)

■ 生涯学習関連施設の状況

- ・ 生涯学習関連施設の利用では、「清須市立図書館」が最も多い。(問11)
- ・ 男性の6割、女性の5割が、生涯学習関連施設を利用していない。(問11)
- ・ 生涯学習関連施設を利用する上での問題点として、「使える時間帯が希望と合わない」、「使える日にちや曜日が希望と合わない」も多くあげられている。一方で4割以上が「特になし」と回答していることから、学習における時間的制約が問題としてあるものの、多くの人が生涯学習関連施設を利用する上で特に困っていないことがうかがえる。(問12)

■ 生涯学習の情報について

- ・ 「インターネット(携帯電話・スマートフォン)」が最も多いことから、インターネットが主要な情報源として幅広く利用されていることがうかがえる。20代から40代で「インターネット(携帯電話・スマートフォン)」が、50代から70代以上では「市や県の広報紙」が多いことから、年齢が上がるにつれて、紙媒体を利用する傾向が強いことがうかがえる。また、前回調査(平成25年)と比較すると、携帯電話やスマートフォンを通じた情報収集が増えている一方で、従来の紙媒体の利用は減少している傾

向がみられる。(問 13)

- ・ 学習に関する情報では、「講座・教室の情報」や「イベントの情報」が望まれている。
(問 14)

② 生涯学習に対する今後の意向について

- ・ 今後の学習意欲について、7割以上が「してみたいと思う」、「どちらかといえばしてみたいと思う」と回答していることから、今後の学習に対して前向きな姿勢を持っていることがうかがえる。(問 15)
- ・ 学習機会では、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」や「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」が望まれている。(問 15-1)
- ・ 学習成果の還元について、およそ6割が学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を自分以外のために「生かしたい」、「どちらかといえば生かしたい」と回答していることから、学びを通じて得たものを他者に還元する意欲が高いことがうかがえる。(問 16)
- ・ 学習で身に付けた知識・技能や経験を生かす場所や機会として「家庭生活を通じて」、「学校・職場を通じて」の回答が多くなっている。年齢によっても差がみられ、特に70代以上では「ボランティア活動」や「地域活動(町内の活動)」などの地域貢献の意識が強いことがうかがえる。(問 16-1)
- ・ 学習成果の還元に必要なこととして、「同じ分野に興味のある人々との交流」が最も多い。(問 16-2)

③ 歴史・文化の振興に向けて

- ・ 半数以上が清須市の歴史・文化に誇りや愛着を感じている。60代、70代においては特に強い愛着がみられ、歴史・文化への愛着が代々受け継がれていることがうかがえる。
(問 17)
- ・ およそ6割が歴史・文化に関心を持っている。男女別では男性がより強い関心があり、特に60代、70代において関心が高まる傾向がうかがえる。(問 18)
- ・ 清須市で特に誇りに思うものでは、「清洲城」が最も多い。(問 19)

④ 生涯学習の振興に向けて

- ・ 学校以外の場で、子どもに学ばせたいこととして、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」や「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」が望まれている。(問 20)
- ・ 今後、市が力を入れるべきだと思うことでは、「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実(講座の充実、開館時間の拡大、相談窓口の充実、施設間の連携など)」が最も多い。(問 21)

(3)調査内容

① 回答者について

- 問1 あなたの性別をお答えください。(1つを選択)
- 問2 あなたの年齢をお答えください。(1つを選択)
- 問3 あなたの職業をお答えください。(1つを選択)
- 問4 あなたがお住まいの中学校区をお答えください。(1つを選択)
- 問5 清須市での居住年数をお答えください。(1つを選択)
- 問6 あなたは現在、地域活動に参加していますか。(1つを選択)
- 問7 あなたは、普段の生活に満足していますか。(1つを選択)
- 問8 あなたは、何かを学ぶことが人生において必要であると思いますか。(1つを選択)
- 問9 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(1つを選択)

② 生涯学習の状況について

- 問10 あなたは、この1年間くらいの間に、次に示す学習をしたことはありますか。(いくつでも選択可)
- 問10-1 あなたは、どのような学習に参加したことがありますか。(いくつでも選択可)
- 問10-2 あなたは、この1年間に行った学習(学習、趣味、スポーツ、ボランティア等)について満足していますか。(1つを選択)
- 問10-3 あなたが、学習を行う主な目的は何ですか。(いくつでも選択可)
- 問10-4 あなたは、学習をどのくらいのペースで行いますか。(1つを選択)
- 問10-5 あなたが、学習を行う主な時間帯はいつですか。(3つまで選択可)
- 問10-6 学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。(いくつでも選択可)
- 問10-7 あなたは、学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を主にどのように生かしていますか。(いくつでも選択可)
- 問10-8 あなたが、学習をしていない理由は何ですか。(いくつでも選択可)
- 問11 次の市の生涯学習関連施設の中で、よく利用するものはどれですか。(いくつでも選択可)
- 問12 市の生涯学習関連施設を利用する上での問題点は何ですか。(いくつでも選択可)
- 問13 あなたは学習に関する情報を、どのような方法で得ていますか。(いくつでも選択可)
- 問14 あなたはどのような学習に関する情報を望みますか。(いくつでも選択可)

③ 生涯学習に対する今後の意向について

- 問 15 あなたは、今後、学習（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等）をしてみたいと思いますか。すでに生涯学習活動をしている方は、今後もしたいと思いますか。（1つを選択）
- 問 15-1 あなたは今後、どのような学習の機会が増えれば良いと思いますか。（いくつでも選択可）
- 問 16 あなたは、学習（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等）を通じて身に付けた知識・技能や経験を、自分以外のために生かしたいと思いますか。（1つを選択）
- 問 16-1 学習で身に付けた知識・技能や経験を主にどのような場所・機会を通じて生かしたいと思いますか。（いくつでも選択可）
- 問 16-2 あなたは、学習で身に付けた知識・技能や経験を自分以外のために生かすには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択可）

④ 歴史・文化の振興に向けて

- 問 17 あなたは、清須市の歴史・文化に誇りや愛着、魅力を感じていますか。（1つを選択）
- 問 18 あなたは、歴史・文化に関心がありますか。（1つを選択）
- 問 19 あなたが清須市で、特に誇りに思うものは何ですか。（3つまで選択可）

⑤ 生涯学習の振興に向けて

- 問 20 あなたは、学校以外の場で、小・中学生の子どもに特にどんなものを学ばせたいと思いますか。（3つまで選択可）
- 問 21 あなたは、今後、生涯学習をより活発にしていくために、市では特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
- 問 22 市の生涯学習施策に関して、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

(4)調査結果

調査結果は、清須市ホームページからご確認いただけます。

「清須市の生涯学習に関するアンケート調査(16歳以上の市民対象)結果報告書」

【URL】 https://www.city.kiyosu.aichi.jp/shisei_joho/keikaku_shisaku/kobetsu_bunyabetsu_keikaku/yutakanakokoro/r6suisinkeikakudai2.html



6. 清須市の生涯学習関連団体へのヒアリング調査

(1) 調査の実施概要

① 調査の目的

本計画の策定にあたり、各団体が実際の活動を通じて感じている清須市の現状・課題や参考となるべき事例等を把握、整理し、より現状に即した施策検討に活用することを目的として団体ヒアリング調査を実施しました。

② 調査対象

市内で活動する生涯学習関連団体等（15 団体）

・清須市文化協会	・清須市体育協会
・清須市女性の会	・きよすスポーツクラブ
・清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」	・清須市レクリエーション協会
・清須市子育てネットワーク「ふわふわ」	・ボーイスカウト清須第一団
・清須市男女共同参画えみの会	・清須市地域学校協働本部
・清須市国際交流協会	・清須市ガイドボランティア
・西枇杷島町山車保存会	・あいち朝日遺跡ミュージアム
・清須市社会福祉協議会	

③ 調査方法

ヒアリングシートの配布・実施

④ 調査時期

2024（令和6）年8月～9月

⑤ ヒアリング内容

- ・団体の活動目的
- ・団体の活動内容
- ・活動場所
- ・主な構成員の年代
- ・活動における課題
- ・団体の5年後に目指す姿
- ・市への提言

(2)調査結果

① 活動の継続における課題

高齢化や人材不足により、活動を継続的に引き継ぐことが難しいという意見がありました。また、活動資金不足によるボランティア依存の活動に対して危機感を抱いているという意見もあります。

意見内容(抜粋)
高齢化や人材不足により、上手く世代交代が図れない現状がみられる。
活動資金がなく、ボランティア精神にのみ頼るという体制が続いている。

② 活動拠点や連携強化の必要性

活動の拠点となる場所の確保が難しいという意見や、団体や事業、活動の情報の共有や連携を望む意見がありました。

意見内容(抜粋)
団体や事業、活動などの情報を共有するなど連携を図りたい。
活動の拠点となる場所の確保は困難を伴うことも多い。

③ 学びの地域還元的重要性

学んだことを単なる個人の知識として終わらせず、それを地域社会で活用できる場や機会に結びつけることが大切だという意見がありました。

意見内容(抜粋)
市内外での活躍機会。
学んだことを単なる知識として埋もれさせるのではなく、知識を生かすことができる場や機会へとつなぐことで、学びを地域社会へ還元していくことが大切です。

④ 情報提供の充実

チラシの作成・掲示や研修会の開催により、地域の人々に気づきや関心を持ってもらうための活動がしたいという意見や、行政との協力により、より多くの人々に活動の情報が届くようにしたいという意見がありました。

意見内容(抜粋)
チラシをつくったり、研修会を開催して、気づきの場をつくりたい。
多くの人に情報が届くように行政と連携して活動していきたい。

7. 清須市の生涯学習に関するアンケート調査(小中学生対象)

(1)調査の実施概要

① 調査の目的

本計画策定にあたる基礎資料として、また、今後の市の生涯学習に関する施策や取組を推進する際の基礎資料として子どもの意見やニーズを把握するためにアンケートを実施しました。

② 調査対象

市内の小中学校に在席する小学5年生および中学2年生を対象

③ 調査方法

インターネット回答によるアンケート調査（学校を通じて回答を依頼）

④ 調査時期

2024（令和6）年9月

⑤ 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,297	1,152	88.8%

⑥ 調査内容

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ・属性(問1) | ・学校以外での過ごし方について(問3、問4、問5) |
| ・今、関心があること(問2) | ・学校の授業以外で学びたいこと(問6) |

(2)調査結果

- ・ 今、関心があることとして、「友だちづきあい」が最も多く、次いで「部活動」、「動画、SNS」となっている。(問2)
- ・ 7割以上の小中学生が学校以外の行事や活動に参加している。(問4)
- ・ 近所や地域の大人との関わりについては、あいさつや声かけなどの比較的軽い交流が中心である。「一緒にスポーツや、楽器の演奏などの活動をする人がいる」と回答したのは、1割程度となっている。(問5)
- ・ 学校の授業以外で学びたいこととしては、「趣味的なもの」が最も多く、次いで「健康・スポーツ」、「パソコン・インターネット」の順となっている。一方で、「まちづくり、地域づくり」や「国際理解・国際交流」に関することは少なくなっている。(問6)

清須市生涯学習推進計画（第2期）

2025（令和7）年3月

清須市 教育委員会事務局 教育部 生涯学習課
スポーツ課

〒452-8569 清須市須ヶ口1238番地

TEL：052-400-2911

HP：<https://www.city.kiyosu.aichi.jp/>